

受験番号

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

世間一般の方々は「気象」という言葉を聴いて、真っ先に何を思い浮かべられるであろうか。

おそらくは、晴雨寒暖など日々のお天気のことや気象庁・気象台の出す予報のことであろう。確かにお天気は日常生活にとって⑦イシヨクジュウすべてにかかわりをもつ。テレビ番組の名前も旧来の「天気予報」から「気象情報」へと変り、気象予報士の皆さんが日々の天気図から始まって四季折々の⑧風物や歳時記に至るまで懇切丁寧な解説をしてくれる。

同様に、地球物理学とか地球惑星科学と聞けば⑨たじろいで一歩下がる方でも、気象学に対しては⑩身近な現象を扱う実学的な学問と受け止めておられるようである。お仕事は何をなさっているのですかと問われて、気象学の研究をしています、とでも答えようものなら、早速にこの夏の暑さの予測とか梅雨明けの時期などを尋ねられる。南極オゾンホールと気象を結びつけて考える人はむしろ稀である。

A、この気象という言葉が天気現象を意味する日本語として定着したのは⑪イガイに新しい。江戸時代までは無かった言葉づかいである。B『解体新書』でおなじみの杉田玄白は、文化十二年（1815年）に書いた『蘭学事始』のなかで血圧計や温度計のことを述べているが、気象という言葉は出てこない。天保九年（1838年）に雪結晶の分類について書かれた土井利位の『雪華圖説』も同様である。

もともと気象とは、「⑫キシヨウ」と同じ意味で、あの人は気象の激しい人だ、というような使い方をされてきた。気は気持や勇氣などの気であり、象は現象や象徴などの使い方から分かるように、ものの形、ありさまを意味する。

何年か前のこと、京都大学を訪れた若いアメリカ人の研究者と昼食時に日本語について雑談しているなかで漢字の話になった。漢字のなかには古代エジプトのヒエログリフとよく似た意味での象形文字が幾つかあることを説明する例として、山、川、火、木、などに加えて、耳が大きく鼻と牙の長いゾウの絵と字を描いて見せたところ、「エレファントと気象の象が同じ字なのはどうしてですか？」と鋭い質問をされ咄嗟の答えに⑬窮した。やむを得ず、ひとつの漢字が別の意味を表すこともあるのだ、と逃げを打ったが⑭これは確かに難問である。

『気象の生い立ち』廣田 勇

問一、Ⅱ線部⑬⑭のカタカナを漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。

⑦		⑧		⑨		⑩		⑪		⑫	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問二、Ⅲ線部A・Bに入る適切な語を次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

A		B		A		B	
…(ア) …(イ) …(ウ) …(エ) …(オ) …(カ) …(キ) …(ク) …(ケ) …(コ)	…(ア) …(イ) …(ウ) …(エ) …(オ) …(カ) …(キ) …(ク) …(ケ) …(コ)	…(ア) …(イ) …(ウ) …(エ) …(オ) …(カ) …(キ) …(ク) …(ケ) …(コ)	…(ア) …(イ) …(ウ) …(エ) …(オ) …(カ) …(キ) …(ク) …(ケ) …(コ)	…(ア) …(イ) …(ウ) …(エ) …(オ) …(カ) …(キ) …(ク) …(ケ) …(コ)	…(ア) …(イ) …(ウ) …(エ) …(オ) …(カ) …(キ) …(ク) …(ケ) …(コ)	…(ア) …(イ) …(ウ) …(エ) …(オ) …(カ) …(キ) …(ク) …(ケ) …(コ)	…(ア) …(イ) …(ウ) …(エ) …(オ) …(カ) …(キ) …(ク) …(ケ) …(コ)

問三、Ⅳ線部①の意味として正しいもの次から選び、記号で答えなさい。

- (ア) ひるむ (イ) しびれる (ウ) 苦しむ (エ) 悲しむ

--

問四、Ⅴ線部②「身近な現象」の例としてどのようなものが挙げられているか、本文中から十字以内で二つ抜き出しなさい。

問五、Ⅵ線部③「これ」が指す内容を本文中の言葉を用いて簡潔に答えなさい。

--

問六、本文の内容として一致するものを次から選び、記号で答えなさい。

- (ア) 日本では、気象学を身近なものとして意識している人々が多い。
- (イ) 気象という言葉は、江戸時代以前に生まれたものである。
- (ウ) 古代エジプトから伝わった気象学は、日本で発展していった。
- (エ) 他国との文化の違いは、気象学の分野にも存在している。

--

受験番号

二、次の古文を読み、後の問いに答えなさい。

双六の①上手といひし人に、その手だてを②問ひはべりしかば、「勝たんと打つべからず。負けじと打つべきなり。いづれの手か、とく負けぬべきと案じて、その手を③使はずして、一目なりとも④おそく負くべき手につくべし」といふ。道を知れる教へ、身を治め、国を保たん道も、また③しかなり。

(『徒然草』吉田 兼好)

(注) ・双六(すごろく)：奈良時代頃に、中国からはいった室内遊戯 ・手だて：(勝つための)手段

・一目：双六の盤の筋目の一つ ・道を知れる教へ：その道を知っている者の教えであって

問一、||線部⑦のウを現代仮名づかいに直しなさい。

⑦
①
ウ

問二、|線部①「上手といひし人」とはどのような人か。適切なもの次から選び、記号で答えなさい。

- (ア) 有名人 (イ) 名人 (ウ) 素人

--

問三、|線部②「おそく」の反対の意味として使われている言葉を本文中から抜き出しなさい。

--

問四、|線部③「しかなり」は「そのとおりである」という意味であるが、具体的にどのようなことを指しているか。次から選び、記号で答えなさい。

- (ア) 相手に勝とうとして、普段から努力しておくべきであること。(イ) 相手に勝とうとするより、負ける道を選ぶべきであるということ。(ウ) 相手に勝とうとして、積極的に打って出るべきであるということ。(エ) 相手に勝とうとするより、負けまいと考えるべきであること。

--

三、次の|線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ①飛行機が滑走路に入る ②文章を添削する ③映画館で邦画を観た ④この本は不朽の名作だ

①
②
③
④

四、次の|線部のカタカナを漢字で答えなさい。

- ①アサセで潮干狩りをする ②トウトツに話し始める ③感情のキフクが激しい ④最初から意気トウゴウする

①
②
③
④

五、次の①～④の四字熟語から間違っている漢字を答えなさい。また、その漢字を正しく直しなさい。

- ①応救措置 ②首尾一間 ③志離滅裂 ④免許回伝

①	正	誤
②	正	誤
③	正	誤
④	正	誤

六、次の①～④の語が対義語になるように、□からひらがなを選び、□に漢字に直して答えなさい。ただし□に入る漢字は一字のみです。

- ①儉約 ↑↓ □費 ②義 □ ↑↓ 権利 ③架空 ↑↓ 実 □ ④概要 ↑↓ □細

む ・ ひび ・ ろう ・ しょう

①
②
③
④